



LPV220



LPVS220

概要

LPVシリーズは、超精密ボイスコイル型リニアモータを、高速に位置決めするために開発製品化しました。

<LPV220>

超高速位置決めを実現する為、位置アンプは、弊社独自の制御方式（PLL回路）を採用しました。

<LPVS220>

位置フィードバック信号は、A、B相の2相エンコーダを使用し、外部指令に16bitデータを入力して、超高速位置決めをします。電力制御はリニアアンプ方式を採用し、ノイズレス、高速応答、リニアなトルク制御を実現し、ナノメータ単位の超精密位置決めを可能とします。

LPVシリーズは、ナノメータ単位の超精密位置決めに最適なドライバといえます。リニアアンプの周波数特性は、抵抗負荷時 DC～20KHz です。主回路は単相ブリッジ構成です。

特長

1. <LPV220>

通常偏差カウンタに溜まりを持たない為、指令パルスとエンコーダパルス(追従)が一致し、指令パターンと追従パターンとの移相遅れがありません。
(Phase - Locked Loop)

<LPVS220>

高速処理が必要な回路はアナログ演算で処理し、ノイズの問題をなくす為に位置フィードバック信号は、

A，B相の2相エンコーダ信号を入力します。

2. <LPV220>

2軸ドライバの相関関係を正確にトレースできます。

<LPVS220>

位置決め指令もノイズの問題をなくす為に16bitデータより行います。

3. 微量送りにも即応性を発揮します。

4. サンプリング制御をしていないので非常に高速応答です。

5. 4MPPS maxと高速ですので、高分解能エンコーダに対応できます。

6. スイッチングノイズがありません。

● 用途

ボイスコイル型リニアモータ、X Yステージ、ガルバノミラー、その他。特に、微小送りの高速位置決め（数mSec）や、0.01 μ mの高分解能リニアスケールを用いたリニアモータの位置決め、及び位置・速度を同期させ加工する様な超精密マシンに最適です。

● 定格及び仕様

[LPV220仕様書](#) [ダウンロード](#)

[LPVS220仕様書](#) [ダウンロード](#)

BACK

ServoTechno